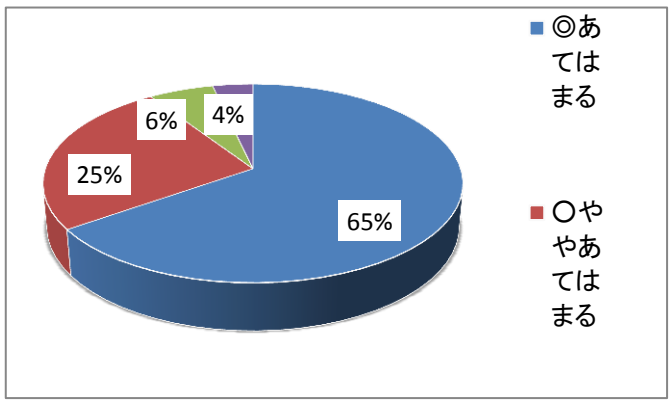
＜児童アンケートの結果より＞

1、学校へ行くことが楽しい

回答項目	◎あてはまる	○ややあてはまる	△あまりあてはまらない	×あてはまらない
回答数	329	128	29	18



アンケートの結果より

元気プロジェクト

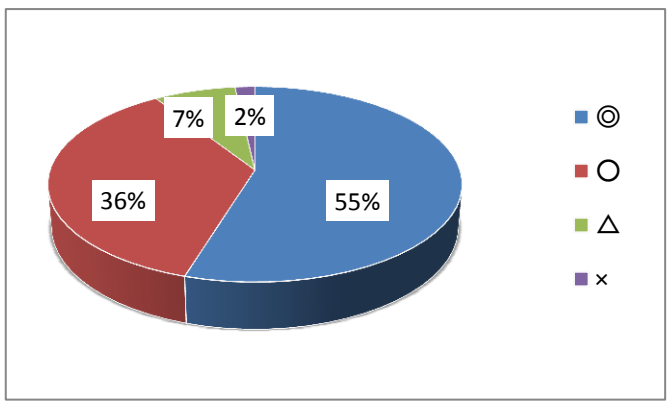
「学校へ来るのが楽しい」と思っている子どもが全体の9割を占め、中でも65%が「◎あてはまる」と回答しています。しかし、10%の子どもが「学校へ来るのがあまり楽しくない」「楽しくない」と感じています。その原因として、友達関係や勉強の悩みなどが考えられます。担任は、子どもたちの様子を見ながら、随時声をかけたり、話し合ったりしながら解決に努めています。

今年度も、QU調査（「楽しい学校生活を送るためのアンケート」）を行い、子どもたちの心やクラスの状態を把握するための手立てとしました。また11月には教育相談週間において、担任との個別面談を全児童に行い、心のケアに努めました。

今後も、分かりやすい授業、あたたかい人間関係の樹立、やりがいのある活動の設定、認められる機会を設けるなど、魅力的な学級・学校づくりに努めていきます。

2、まじめに勉強に取り組んでいる

回答項目	◎	○	△	×
回答数	276	182	37	9



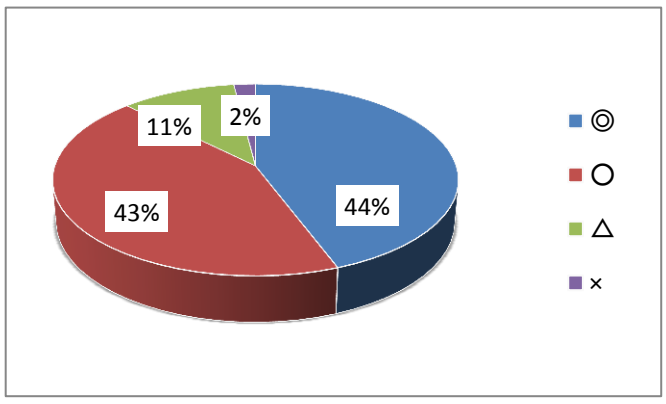
アンケートの結果より

やる気プロジェクト

「まじめに勉強に取り組んでいる」と答えている児童が91%おり、昨年とほとんど同じでした。児童の学習への取り組む姿勢は昨年同様良好であるといえます。しかし、9%の児童が「まじめに取り組んでいない」と答えていますので、その児童への対応を考えていく必要があります。学業指導を徹底していく取り組みをさらに進めたいと考えています。また、さらに児童の意欲が向上する指導方法を工夫していかなければならないと考えています。

3、挨拶や言葉づかいがきちんとしている

回答項目	◎	○	△	×
回答数	223	218	53	10



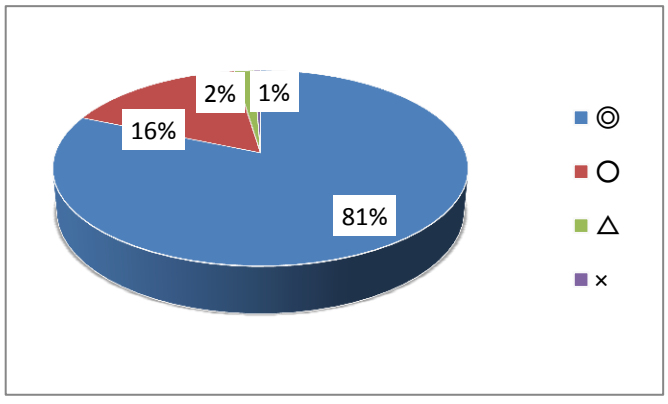
アンケートの結果より

安心安全プロジェクト

挨拶や言葉づかいがきちんとしているかの児童自身の評価は、「あてはまる」「ややあてはまる」を合わせて、昨年度に引き続き9割弱です。「あてはまる」だけについて見ると、幾分増えています。しかし、保護者のアンケートを見ると、子どもたちより厳しい評価となっており、まだまだ、挨拶や言葉づかいについて子どもたちの意識は高める必要があるようです。進んで明るく挨拶をし、正しい言葉づかいで話すよう、今後も指導していきます。

4、友達と仲良く生活している。

回答項目	◎	○	△	×
回答数	410	82	9	3



アンケートの結果より

笑顔プロジェクト

昨年度同様、全体として96%の子ども達が「ほぼ友達と仲良く生活している」と答えています。今年度も、QU調査を実施し、教師の目に見えない部分の把握ができ、それに対する指導ができました。

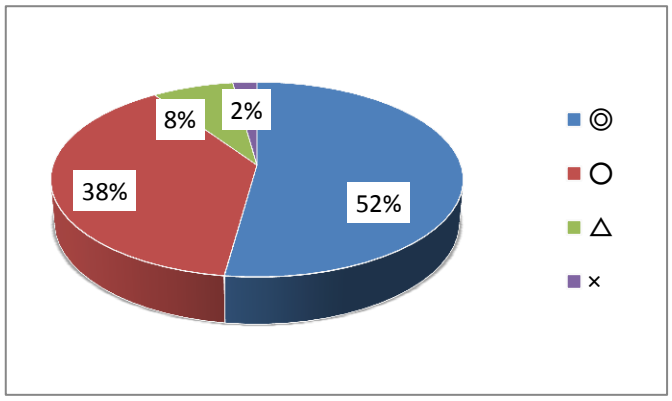
これからも、日常の様子を見守ることを大切にしながら、子ども達の実態を把握していくようにします。

また、保護者の皆様からのご連絡で事実を把握できるということもあります。保護者の皆様が相談しやすい学校作りと学校からの情報発信にも努めて参ります。

H22児童アンケート考察結果　保護者配布

5、毎日の授業がよくわかる

回答項目	◎	○	△	×
回答数	263	193	37	11



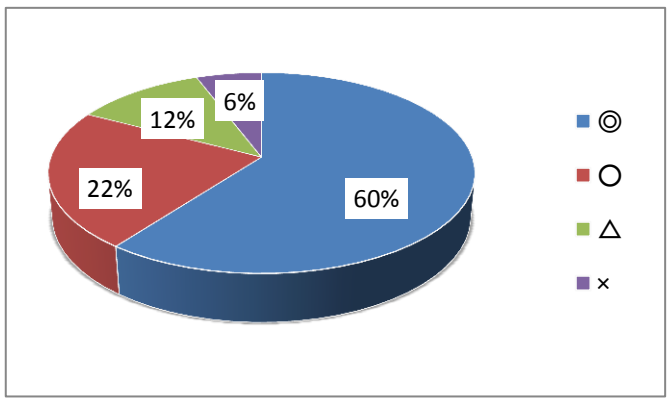
アンケートの結果より

やる気プロジェクト

90%の児童が「授業がわかる」と回答しています。これは昨年度の89%とほとんど同じです。TT授業や少人数授業、形成的評価による補充指導、国語タイムや算数タイム、チャレンジテストなどによる基礎的基本的な内容の習熟が効果をあげていると考えられます。今年度は、授業を問題を解決していく流れで行ったりすることにも力を入れてきました。しかし、10%の児童が「わからない」と回答していますので、さらに、小テストなどを取り入れたりしてきめ細かに子どもの実態をつかむように努め、全員がわかる授業をめざしたいと考えています。

6、困ったことがあったら、おうちの人や友だち、先生に相談する

回答項目	◎	○	△	×
回答数	304	113	58	29



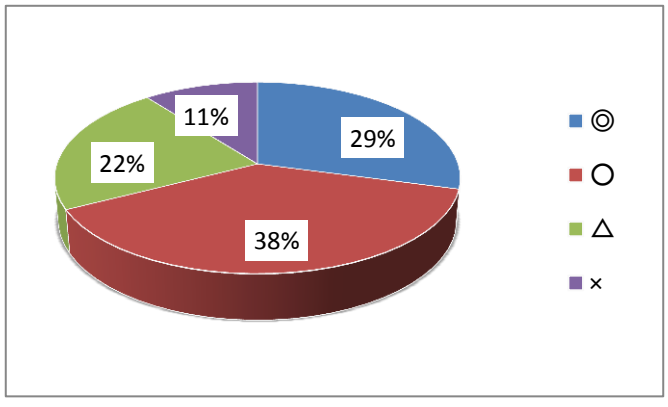
アンケートの結果より

笑顔プロジェクト

昨年度同様、「誰かに相談する」が82%となっていました。しかし、まだ18%（約100名）は、「あまりあてはまらない」もしくは「あてはまらない」に答えています。「今までに、相談するようなことに遭遇していない」と応える子どももいますが、今後、自分自身で処理できない事に直面した時、まわりに相談を求めることができるように相談箱の設置など相談できる体制を整えていきます。今年度、教育相談週間を設け、担任が子どもひとりひとりと向き合う時間を確保しました。心のアンケートをもとに困っていること・悩んでいることを話すきっかけを作り、日頃のコミュニケーションがとりやすいよう、信頼関係を作り児童理解を深めています。また、子どもたちの人間関係を把握し、よりよい仲間作りを目指したいと思います。

7、図書室の本をよくかりて読んでいる

回答項目	◎	○	△	×
回答数	147	193	111	53



アンケートの結果より

やる気プロジェクト

「図書室の本を借りて読んでいる」は67%で、昨年度より2%上回りました。しかし、「借りていない」と答えた児童が、昨年度の9%より2%多い11%となっており、「読んでいる子」と「読んでいない子」の二極化が考えられます。

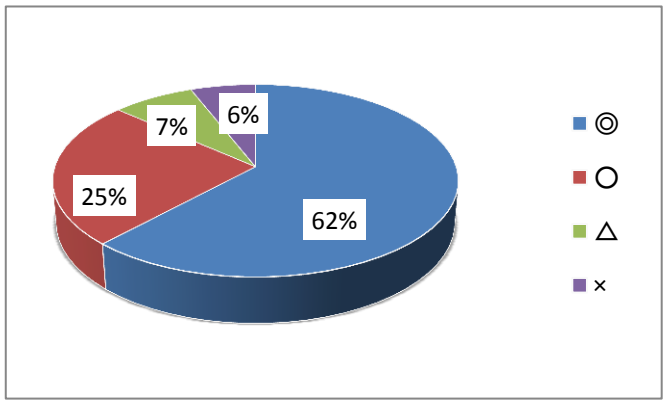
また、学年別で見た際に「借りていない」と答える児童が5年生で43%、6年生で60%見られ、高学年の読書離れが考えられます。

嬉野小では今年度も、朝読書、先生及びPTAによる読み聞かせ、読書会、図書館祭りなど様々な方法で子ども達が本に親しむように努力してきました。

また、読書の質を高めるために学年ごとに「おすすめの本50冊」を設定しています。今後もさらに読書指導の充実に努めていきます。

8、外で元気に遊んでいる

回答項目	◎	○	△	×
回答数	312	124	38	30



アンケートの結果より

元気プロジェクト

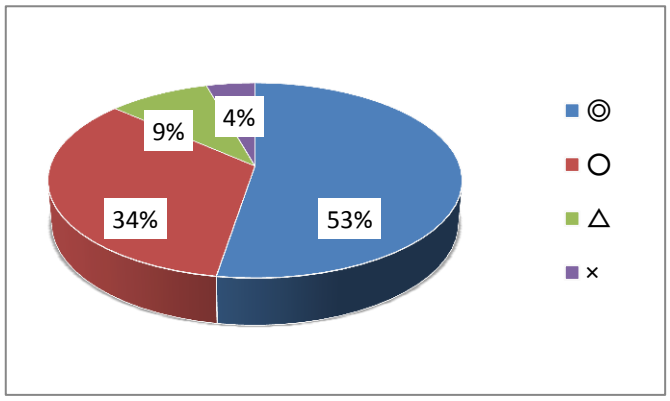
87%の子ども達が「外で元気に遊んでいる」と答えていて、おおむね外遊びが好きであると言えます。体力をつけたり、友達とのコミュニケーションを学んだりするためにも、クラスでの「みんなで遊ぼうの日」の設定は有効と考えていますので、継続してしていきたいと思います。

低学年では、体育の時間に持たせたなわとびカードに、休み時間にもそれぞれの目標に向かって記録するようにしたところ、外に出る子どもが増えました。また、高学年の女子などが、室内で過ごすことが多くなる寒い時期に、マラソン大会に向けて体を鍛えるマラソンタイムがあり、外に出るいい機会となっていますので、今後も続けていきます。

H22児童アンケート考察結果　保護者配布

9、学校や家で好き嫌いなく食べている

回答項目	◎	○	△	×
回答数	265	171	46	22



アンケートの結果より

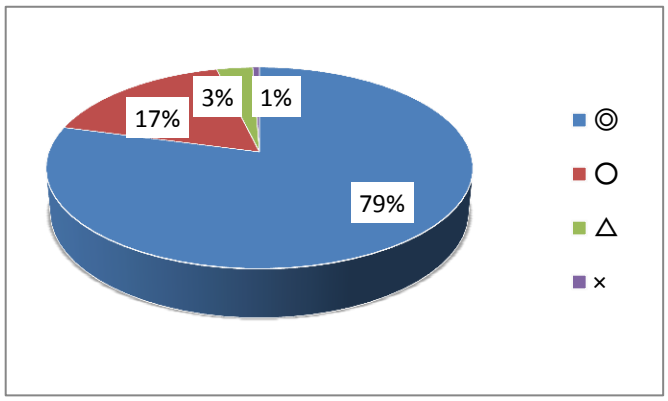
元気プロジェクト

87%の子どもたちが「好き嫌いなく食べている」と答えています。しかし、一方で残り13%の子どもたちが嫌いなものを食べることができない状況です。今年度は全クラスにおいて栄養教諭による食育の授業を設定し、専門的な食育指導を行っています。無理のないように少しずつでも苦手な食べ物を克服させていきたいと考えています。

そして、今後も学級通信や食育便り等を通して家庭との連携を図り、共に子どもの健やかな心身の育成を図っていけたらと思います。また、3年目となった1年生の親子給食は、給食の内容はもちろん、子どもたちの給食の様子を知るいい機会ですので、継続していきたいと考えています。

10、学校や家で歯みがきをきちんとしている

回答項目	◎	○	△	×
回答数	399	86	16	3



アンケートの結果より

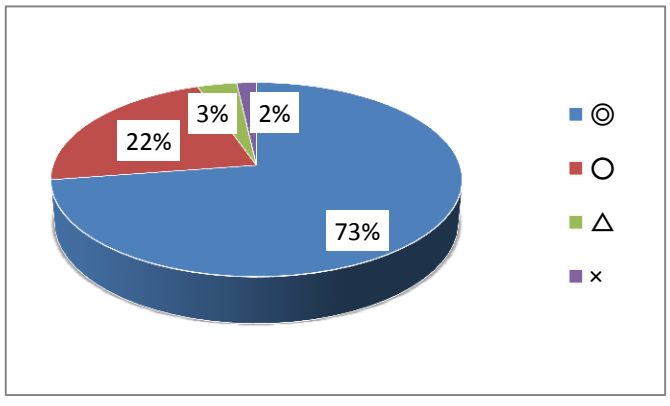
元気プロジェクト

学校や家で歯みがきをきちんとしているかについては、昨年度に引き続き「あてはまる」「ややあてまはる」合わせて、96%と非常によい結果が出ています。

僅かですが、昨年度よりも「あてはまる」の割合が高くなっているのは、給食後の歯みがきビデオを2回放送していることの効果と考えられます。今後も「磨き方」も含めて指導を続けていきます。

11、自分であぶない目にあわないような行動を心がけている

回答項目	◎	○	△	×
回答数	366	111	18	9



アンケートの結果より

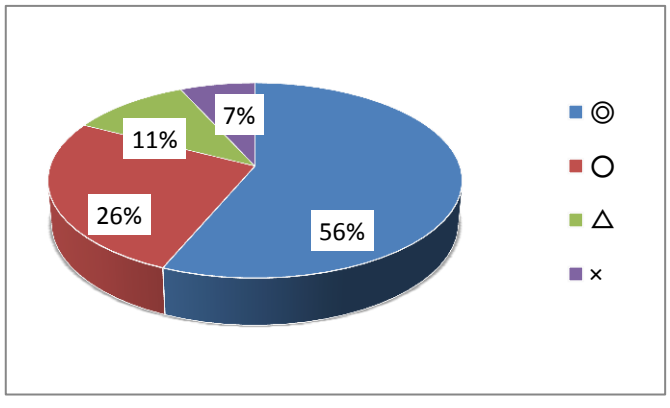
安心・安全プロジェクト

自分で危ない目にあわないような行動をこころがけているかについては「あてはまる」が約4分の3、「ややあてはまる」が約5分の1、二つの合計では9割超と、自己評価ではとても安全に気をつけているという結果が出ています。

しかし、実際には学校においても危険なことをしての事故が起こっており、校外でも危険な遊びをしているという情報もときおり届きます。また、安全を期しての登校班も、十分には機能していないところもあるようです。安全な生活については、今後も繰り返し指導していきたいです。

12、学校でのできごとをおうちの人に話している

回答項目	◎	○	△	×
回答数	284	132	54	34



アンケートの結果より

笑顔プロジェクト

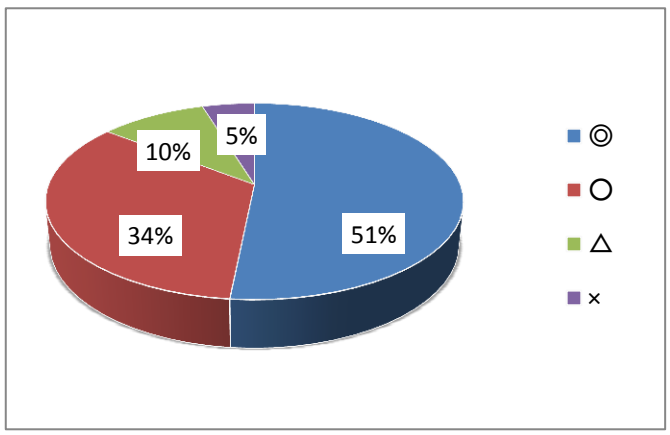
「学校でのできごとを話している」と答えているのは、56%で「やや」も入れると82%と、多くの児童が学校での出来事を家庭で話していることが分かります。

学年毎の傾向を見ると、どの学年も6割近くの児童がよく話していることが分かります。6年生が「あまりあてはまらない」「あてはまらない」と答えている児童が、23%います。原因としては、思春期が近づいて、親との会話が減る傾向にあること、習い事などで児童が忙しくなって物理的に親と接する時間が減ること、保護者の方も低学年の時ほど児童に声をかけなくなるということ、などが考えられます。家庭での団らんや会話の場をお願いするとともに、学校としても、家族での話題つくりに一役かえるように、学習内容や課題の与え方、お便りの紙面などの工夫していきます。

H22児童アンケート考察結果　保護者配布

13、早寝・早起き・朝ごはんを心がけている

回答項目	◎	○	△	×
回答数	260	171	49	24



アンケートの結果より

やる気プロジェクト

85%の子ども達が「早寝・早起き・朝ごはんを心がけている」と答え、昨年度の86%とほぼ同じ水準でした。 しかし、まだ15%（約70名）の子ども達が「あまりあてはまらない」または「あてはまらない」と答えています。

「早寝・早起き・朝ごはん」は、基本的な生活習慣の基盤であり、子ども達の生活や学習にも大きな影響を及ぼすものです。その点を踏まえ、今後とも家庭と協力しながら指導していきます。ご家庭のご協力をよろしくお願いします。

14、手つだいを毎日決めてしている

回答項目	◎	○	△	×
回答数	230	153	79	42

アンケートの結果より

元気プロジェクト

手伝いを毎日決めてしている子ども達が76%います。嬉野小の子ども達はおおむね手伝いをよくしているといえます。

しかし、24%の子ども達が何らかの理由で手伝いを決めてはしていない状況です。

手伝いを継続してすることは、家族の一員としての自覚を持たせたり、責任感や家族を思いやる気持ちを育てたりすることにつながります。

その点を踏まえ、手伝いの大切さについて子どもたちに話をしていきます。また、「家庭生活あいうえお表」などを通して、学校と保護者が協力して、手伝いに取り組ませていきます。